品川区・オークランド市友好都市締結 30 周年

オークランド市公式訪問報告書

オークランド市タウンホールでの友好都市協定締結 30 周年記念式典

令和5年(2023年)9月

品川区

令和5年(2023 年)9 月

品川区･オークランド市友好都市締結 30 周年

オークランド市公式訪問報告書

目 次

１．目　次　・・・・・・　１

２．再確認書　・・・・・・　２

３．公式訪問団名簿　・・・・・・　３

４．公式訪問行程表　・・・・・・　４

５．公式訪問　記録　・・・・・・　５

６．参考（資料）　・・・・・・・３７

オークランド市からの招待（英文・和訳）　３８

１９９３年　品川区・オークランド市友好都市協定宣言文　４０

オークランド市との交流人数　４２

３０周年記念展示（区役所３階）　４３

３０周年記念　区内１３橋梁ライトアップ　４４

Reaffirmation of Friendship City Relationship Agreement between Shinagawa City of Tokyo, Japan, and Auckland, New Zealand

日本国東京都品川区とニュージーランド国オークランド間における友好都市協定の再確認書

Te Whakaūnga o te Whakaaetanga Whakahoa ā-Tāone i waenga o Shinagawa City i Tokyo, Japan, me Tāmaki Makaurau, Aotearoa

1993年5月17日、品川区とオークランドは、世界の平和と繁栄に寄与することを目的として友好都市関係を締結した。

2023年は締結から30周年となる。品川区とオークランドは共に、両区市間のこの友好関係を継続し、さらに発展させるべく努めることを表明する。

この再確認書への調印により、我々は互いの文化と人々に対する認識をさらに高めることを目指す。そして、双方の利益に基づき関係を深めていくことを決意する。

この再確認書は日本語、英語、マオリ語によって作成する。いずれの言語によるものも、等しく真正とする。

2023年9月4日
オークランドに於いて

On the 17th of May 1993, Shinagawa city and Auckland signed a Friendship City Agreement with the aim of contributing to world peace and prosperity.

2023 marks the 30th anniversary of the Agreement. Shinagawa city and Auckland jointly declare that they will strive to continue and further develop the friendly relationship between the two cities.

Through the signing of this Reaffirmation, we aim to achieve a growing appreciation of each other's culture and people; and resolve to deepen our relations based on mutual benefit.

This Reaffirmation is written in Japanese, English and te reo Māori. All texts are equally authentic.

4 September 2023
Auckland

I te 17 o Mei 1993, ka waitohu tahi te tāone o Shinagawa me Tāmaki Makaurau i tētahi Whakaaetanga Whakahoa ā-Tāone i runga i te whāinga kia noho tēnei hei koha ki te rangimārie me te tōnuitanga i te ao.

Ko te tau 2023 te huritau 30 o te Whakaaetanga. E whakaatu tahi ana te tāone o Shinagawa me Tāmaki Makaurau i tō rāua takakawe kia haere tonu, kia whakawhanakehia atu anō hoki te hononga mārie i waenga i ngā tāone e rua.

Mā te waitohu i tēnei Whakaūnga, e whai ana māua kia tipu haere te kaingākau o tētahi ki tō tētahi ahurea, ki tō tētahi iwi hoki; ki te whakatau hoki kia mārō ake ngā hononga hei painga pātahi.

He mea tuhi te Whakaūnga nei ki te reo Hapanī, ki te reo Pākehā me te reo Māori. E ōrite ana te tūturu o ēnei tuhinga katoa.

4 Hepetema 2023
Tāmaki Makaurau

森澤恭子・Kyoko Morisawa
Mayor of Shinagawa City, Tokyo・東京都品川区長・Kahika o Shinagawa City, Tokyo
Japan・日本国・Japan

Desley Simpson・デズリー・シンプソン
Deputy Mayor of Auckland・オークランド副市長・Kahika Tuarua o Tāmaki Makaurau
New Zealand・ニュージーランド・Aotearoa

品川区・オークランド市友好都市締結 30 周年

公式訪問団名簿

No.	氏　名	役職等
1	森澤　恭子	品川区長
2	渡辺　裕一	品川区議会議長
3	勝亦　隆一	総務課長
4	横田　紫織	区議会事務局 庶務係長
5	木村　真澄	総務課 平和・国際担当主査

計5名

品川区・オークランド市友好都市締結30周年公式訪問　行程表

日程	時間	行動予定
9月2日（土）	16:30	成田空港　集合
	18:30	成田空港発　　【所要時間10時間30分】
9月3日（日）	8:00	オークランド空港着
	9:15	オークランド空港発 （バス移動）
	10:00	ホテル着。チェックインし、荷物を預ける。
	10:30	ホテル発 （バス移動）　途中、海岸沿いの開発地域等を視察。
	12:30~14:45	オークランド総領事公邸にて松居総領事夫妻、川島副領事と区長、議長打合せ
	15:20~17:00	オークランド博物館視察
	18:00	ホテル着。明日の行程等を確認し、解散。
9月4日（月）	9:30	ホテルロビーで集合し、オークランド市タウンホールへ移動（バス移動）
	9:50	タウンホール前に到着。オークランド市担当職員と合流。
	10:00	オークランド市　30周年記念式典 【約40名】 ・ポウヒリ（マオリ族の歓迎儀式）　オークランド市側によるマオリ式挨拶、マオリの歌 ・シンプソン副市長　スピーチ ・森澤区長　スピーチ ・再確認書への署名（文章は日本語・英語・マオリ語） ・記念品交換　江戸切子グラス（品川区）/マオリの工芸品（オークランド市） ・ポウヒリ　品川区公式訪問団による返礼の歌「上を向いて歩こう」
	10:45	歓迎交流会（立食スタイルの軽食）
	11:30	オークランド市庁舎視察
	12:30	市庁舎からバスでニュージーランドホッケー協会へ移動
	13:00-15:00	ニュージーランド　ホッケー協会訪問
	15:30~16:30	GRID-AKL視察
	16:45~17:30	ホテルロビーで明日の行程等を確認し、解散。
9月5日（火）	8:00~9:15	ホテルロビー集合。バス移動。
	9:20	リンフィールド・カレッジ訪問・交流 ・ポウヒリ：マオリ族の歓迎儀式 ・リンフィールド・カレッジ校内視察
	11:30	品川区青少年語学使節派遣プログラムの概要説明・報告会
	12:45~13:45	バス移動
	14:00	オークランド湾岸公社視察（松居総領事等と合流） ・施設内で概要、現状説明 ・視察：貿易関係の貨物の状況、クルーズ船等の運航状況
	16:00~17:00	バス移動
	17:00	ホテル着。明日の集合時間等を確認し、解散。
9月6日（水）	5:45~7:00	ロビー集合、チェックアウト。オークランド空港へ（バス移動）
	8:50	オークランド発 【NZ099】　所要時間11時間
	16:50	成田空港着
	18:00	荷物ピックアップ後、解散

品川区・オークランド市有効都市締結30周年
品川区公式訪問　記録

品川区・オークランド市友好都市締結 30 周年

品川区公式訪問団　記録

9月2日(土) 1日目

＊日程・時間はすべて現地時間

１．成田空港　発

①集合時間　16:30

　出発時間　18:30　所要時間　10 時間 30 分

②参加者　品川区公式訪問団　7名

③場　所　成田空港第１ターミナル

9月3日(日) 2日目

１．オークランド空港　着

①時　間　空港着　8:00

　空港発　9:15

　ホテル着　10:00

②参加者　品川区公式訪問団、品川区国際友好協会、

　現地コーディネーター　村上より子氏、運転手 Chris Rue 氏

③場　所　オークランド空港

④内　容

　オークランド空港にて、現地コーディネーター 村上氏、運転手 Rue 氏と合流。訪問中の移動はバス移動とした。

オークランド空港

税関横には無料の抗原検査キットが設置

２．オークランド総領事公邸までの移動

①時　間　10:30～12:30

②参加者　品川区公式訪問団、品川区国際友好協会

③場　所　海沿いの開発地帯

④内　容

海沿いの開発地域を通って移動中、ハーバーズブリッジ（別名ニッポン　クリップオン）が見える場所でいったん下車。1959年に5年の工期をかけ開通した橋は、当初オークランド市中心部からノースショアを全長1020m、4車線・歩道なしで結んでいた。しかし橋の開通によりオークランド市北部が急激に発展し、開通から10年で当初の想定の3倍以上、1000万台が通行するようになったため、1969年に1年の工期で倍の8車線に増設。この工事を請け負ったのが石川島播磨工業（現 IHI）であり、工事中も交通を妨げることなくあっという間に設置されたため、オークランド市民はいまでもこの橋を尊敬と愛着を込めて「ニッポン　クリップオン」と呼んでおり、現在のオークランド市の人口増加、経済発展に日本企業が一役買ったということであった。

内外からの移住者により人口が増え続けているオークランド市では、以前倉庫街や貨物置き場だった場所の開発が続き、海沿いには新しい公園、新しいマーケット、新しいビルなどが建ち、公園では子どもたちが走り回っていた。

バスでの移動中、同行するオークランド在住のコーディネーター村上よりこ氏がオークランド市の政治や経済、選挙、教育、文化、環境問題等について説明をし、ドライバーの Chris Rue 氏とともに「オークランド市民やその生活」についても学ぶ機会を持てたことは、その後の視察や会合先でのより深い会話や学びに繋がった。

ハーバーズブリッジ

整備されたヨットハーバー

３．オークランド総領事と森澤区長・渡辺議長のブリーフィング

①時　間　12:30～14:45

②参加者　在オークランド日本国総領事　松居眞司氏
副領事　川島彩佳氏
森澤恭子区長、渡辺ゆういち区議会議長

③場　所　　在オークランド日本国総領事公邸

④内　容

6月に着任したばかりの松居総領事から、経済状況、政治情勢（10月に総選挙を控えている）、日本との貿易を含めたニュージーランド全体の概況、在オークランド日本企業の状況などについて説明をいただいた。森澤区長・渡辺議長からは、品川区とオークランドとの30年来の関係について説明し、幅広く意見交換を行った。

３．オークランド博物館　視察

①時　間　　15:20～17:00

②参加者　　品川区公式訪問団、品川区国際友好協会
　　コーディネーター村上氏

③場　所　　オークランド博物館

④目　的

オークランド博物館（別名　オークランド戦争博物館）を訪問。1993年にオークランド市と交わした宣言文には、友好都市提携理由に「世界の平和と繁栄に寄与することを目的」と挙げている。戦争だけでなくマオリ文化やニュージーランドの自然や火山帯についても取り扱っており、マオリや環境問題などについて理解を深める。

⑤内　容

オークランド博物館は、1929年に開館した当初、戦争に纏わる記念施設であったため、戦争や軍に纏わる貴重な展示物を所持している。

1階はニュージーランドの先住民族であるマオリ族、マオリの歴史などを説明しており、マオリの‘マラエ’という集会所（聖域のため写真撮影が禁止されている）が移築、展示されている。一般客も靴を脱いで中に入ることができ、文字をもたなかったマオリ族が文化や歴史を伝えるために物語として装飾した柱や壁を間近に見ることができる。2階はニュージーランドの自然や火山、動植物についての展示。3階は、第一次・第二次世界大戦のメモリアル展示となっており、各所でコーディネーターからの説明を受けた。

ニュージーランドは、英語・マオリ語・手話を公用語としている。建物や展示、部屋の名前は全てマオリ語と英語で記載されている。博物館の展示だけでなく、市庁舎の案内図や道路標識、街中の地図など、あらゆるところで見かけた。

オークランド博物館前

チケットカウンターは英語・マオリ語を併記。オークランド市民と博物館会員は無料、海外からの来訪者は一般料金、オークランド市以外の国内都市からの訪問者には寄付をお願いしている。

1 階入口横の地図の題名「ポリネシアの起源」の表記は、上がマオリ語、下が英語。南半球の文化や民族がどう広がっているのかを確認した。ポリネシアの起源をもつ人々は顔かたちだけでなく、言語や文化も似ており、例えばマオリ語とハワイ語は同じ意味を持つ言葉がいくつもあるとのこと。

100 人乗れるというマオリの船

修繕中に終戦を迎えたため無傷で展示されているゼロ戦「22 型」

部屋の壁一面に、世界中の戦争で亡くなったニュージーランドの兵士たちの名が刻まれている

9月4日(月) 3日目

１．品川区・オークランド市友好都市締結３０周年記念式典　出席

①時　間　10:00～11:30

②参加者　約40名

品川区公式訪問団、品川区国際友好協会
オークランド市副市長　Desley Simpson 氏
在オークランド日本国総領事　松居眞司氏
リンフィールド・カレッジ校長　Cath Knell 氏
日本・ニュージーランド経済委員会委員長　Ian Kennedy 氏他

③場　所　オークランド市　タウンホール

④目　的

オークランド市副市長から1993年5月17日に品川区・オークランド市が友好都市を締結してから30年が経ち、オークランド市で実施する記念式典への招待を受けた。式典では、『再確認書』に署名し、友好関係の継続と、双方の利益に基づき関係を深めていくことを決意する。

交流内容は5年毎に見直され、内容についての再確認書を交わしている。

⑤内　容

1991年に建設されたタウンホールは、現在音楽や式典、催し物が開催されている。

内壁の一部は、オークランド市と友好都市を結んだ市・区との締結文書や記念品などが飾られ、品川区との宣言文も掲げられていた。

タウンホール外観

友好都市等との締結書

1993 年に結んだ品川区との宣言文

記念式典　次第

・ポウヒリ（マオリ族の歓迎儀式）

オークランド市側によるマオリ式挨拶、マオリの歌（Richard　Nihi氏主導）

儀式中、Karanga（呼びかけ）をし、ギターを弾きマオリ語で Waiata（歌）を歌う Nihi 氏

・Simpson 副市長　スピーチ

記念すべき友好都市締結 30 周年を、ニュージーランドで女性が参政権を獲得して 130 年という記念すべき年に、品川区から初の女性区長である森澤区長と共に迎えられた事は大変光栄なことです。

品川区とは『平和』を縁に友好都市を結んでいます。今後も文化や教育など様々な分野で、共に協力して歩んでいきましょう。

・森澤区長　スピーチ

今年初めに水害で被害に遭われた方々に、心からお見舞い申し上げます。二つの区市が世界平和と繁栄に貢献する誓いをたててから四半世紀以上の時が流れました。近年新型コロナウイルスの流行など特に困難な状況でしたが、30 年の友情が絆を繋ぎとめてくれました。今後も互いの文化を尊重し共に進むことで、世界平和へ繋がることを望みます。

式典では、森澤区長とSimpsonオークランド市副市長が友好都市についての『再確認書』に署名を行い、今後のさらなる友好都市としての発展について相互確認をした。オークランド市側は、今年初めの大きな被害があった水害を念頭に、品川区の水害対策を始めとする災害対策にも関心を示し、品川区側はホッケーなどによるさらなる交流について言及した。

・再確認書への署名

・記念品交換

品川区からは江戸切子ペアグラスを贈呈

オークランド市からは額入りのマオリ民芸品
「知識と知恵のバスケット」

・ポウヒリ

品川区公式訪問団による返礼の歌「上を向いて歩こう」

・記念撮影

Celebrating the 30th Anniversary of the
Auckland/Shinagawa Friendship City Relationship
品川区・オークランド友好都市締結30周年記念

・交流会

２．オークランド市庁舎視察

①時　間　　11:30～12:30

②参加者　　品川区公式訪問団、品川区国際友好協会
オークランド市国際交流担当者　Tao Chen 氏

③場　所　　オークランド市庁舎

④目　的

オークランド市は人口160万人の巨大都市である。品川区の新庁舎建設にあたり、オークランド市の取り組みや工夫、先進的な取り組みについて学び、ヒントを得るため。

⑤内　容

タウンホールから徒歩5分の所にある市庁舎内を Chen 氏の案内で視察。

オークランド市では手続きがほぼ電子化しており、突然のお客様が来庁することがないとのことで、来庁者は1階ロビーでパスをもらい、それをゲートに通さないと入れない。公式訪問団も、入口で受け取ったパスを、駅改札のように読み取り部分にかざし、一人ずつゲートを通った。エレベーター内の行先ボタンも、横にある読み取り部分に職員用パスを翳さないと階を選べないようになっており、セキュリティを確保している。

オークランド市の職員数は2万人以上だが、在宅勤務を取り入れている職員がいるため、現在でもオフィスや食堂が混雑することはあまりないとのこと。短時間勤務のバリエーションも多く、働き方も多様であった。

市庁舎の看板やサインはすべてマオリ語の記載が徹底されており、英語はその下に小さく書かれていること多い。道路標識などもマオリ語が併記されている。ただし、実際のマオリ語話者はそこまで多くなく、式典などでは英語通訳をつけることが通常の対応となっている。マオリ語を学ぶクラスは、あちこちで開催されており、Chen 氏の同僚も現在学んでいるとのこと。

市庁舎入り口にはマオリ語で「ようこそ」

入口横のオークランド市内のミニチュア模型

ロビー（中央がゲート）

食堂兼休憩室

会議室名もマオリ語で記載

会議室

職員用個人ロッカー

オフィス入口（右の掲示板にはマオリ語・英語で記載）

部門長に挨拶

３．ニュージーランドホッケー協会　訪問

①時　間　　13:00～15:00

②参加者　　品川区公式訪問団、品川区国際友好協会
ニュージーランドホッケー協会　CEO　Antony Crummy 氏
ハイ・パフォーマンス担当総括部長　Darren　Smith氏

③場　所　　AUT　Millennium 内　ニュージーランドホッケー協会オフィス
＊AUT=国立オークランド工科大学
AUT　Millennium は、いくつかあるキャンパスのうちの一つで、
アスリートのための施設、国民のための健康科学、栄養学、
スポーツ科学などの拠点となっている。

大学敷地内にある施設

④目　的

東京2020オリンピックで区内に大井ホッケー場ができたことを契機に、品川区ではホッケー振興に取り組んでいる。ニュージーランドはホッケーの先進国かつ男女共に世界ランク上位の強豪国であり、ホッケー人口の層は厚い。 日本ホッケー協会事務局長　坂本幼樹氏の紹介で、オークランドにあるニュージーランドホッケー協会のSmith氏に連絡を取り、訪問へと繋がった。

日本では認知度がそれほど高くないが、品川区内では年3回のホッケー教室やイベントでの啓発事業等を通じて約70名の生徒らがホッケーを楽しんでいる。

品川区の現状や今後のホッケー振興、交流の可能性などについて話し合う。

④内　容

・ホッケー協会訪問

今回の会合で連絡・調整を行っていたSmith氏が入口付近で出迎え。

ホッケー協会会議室で Crummy CEO、Smith氏を交え、ニュージーランドでのホッケー競技の現状と人気、クラブチームの運営や内容について伺い、日本・品川でのホッケーの普及啓発や競技人口、取り組みについて話し合った。

ニュージーランドのホッケー人気と認知度は高く、また強豪国でもある。国内にはクラブチームが数多く存在し、観戦はもとより、老若男女がプレーするチャンスと環境がある。

日本では認知度が決して高くないホッケーだが、品川区はホッケーの普及啓発に努めた結果、子どもの競技人口が増加している。ニュージーランドホッケー協会としては、オークランド市と友好都市である品川区のホッケー振興にかかわることは大いに興味があり、また、案内していただいたSmith氏がちょうど青少年の育成担当であることから、子ども同士の交流、子どもへの指導方法等の教授や指導者育成、またその情報交換などでも交流ができるのでは、など様々な提案があがった。

ニュージーランドホッケー協会入口で、Crummy CEO（右）と Smith 氏（左）と一緒に

・AUT　Millennium のハイ・パフォーマンス施設を視察

大学内にある、ハイ・パフォーマンス施設をSmith氏の解説を受けながら視察。

ハイ・パフォーマンスとは、ある競技において最高の競技力を出すための実践力のことで、この施設ではそのために実験・実践的な取り組みを実施する環境を提供するとともに、スポーツ科学、医学などあらゆる分野の研究やその支援も実施している。そのため、様々な機器やスポーツ用具が用意されており、実際に選手らがトレーニングで使用していた。

最新の設備が整う室内施設。同建物内にはプールもあり、季節や天候に左右されずに利用可能。

・North Harbour Hockey の視察

ホッケー協会から車で約5分のところにある、クラブチームのホッケー場へ移動。世界基準の芝や設備を持ち、国際大会も実施されている。

普段は練習にも利用されているとのことで、雨にもかかわらず個人練習をする青少年の姿がみられた。Smith氏によると、クラブの運営方法は様々あるがホッケーの場合は行政やオークランド市からの補助などはあまりなく、運営にはボランティアの協力が欠かせないとのことであった。

観客席側からコートを確認

奥には練習用コートがあり、敷地もかなり広い

4. GRID-AKL 視察

① **時　間**　15:30～16:30

② **参加者**　品川区公式訪問団、品川区国際友好協会
GRID-AKL　企業ネットワーク担当　Catrina Stewart 氏
行政支援・国際連携担当　Fiona Haiko 氏

③ **場　所**　GRID-AKL

④ **目　的**

「スタートアップ」「イノベーション」「インキュベーション」「起業」等支援を目的に2015年、オークランド市傘下に開設された施設。オークランド市はスタートアップや起業を積極的に支援しており、先進的な取り組みをしている。東京都もスタートアップや創業に取り組んでおり、先進的な事業展開やその支援方法等について確認し、今後の参考にする。

⑤ **内　容**

GRID-AKL は2015年の開設以来、スタートアップおよび起業支援を実施している。起業準備や情報交換、また、事業相談などを実施するとともに、イベントやワークショップを実施。

国内最大人口を誇るオークランド市には、チャンスを求める人々や才能を持つ人材も多く集まる。またオークランド市としても積極的にスタートアップや起業支援に取り組んでいる。

施設1階は会員以外でも利用できる無料開放スペースになっており、机やWi-Fi、カフェテリアなどが完備されている。この日は雨天のため、人数は少なかったが利用者が散見された。2階には会員専用スペースがあり、現在70社ほどが利用している。共有のカフェスペース近くには卓球台があり、自然な形でコミュニケーションが生まれるようになっている。そのほか、会議スペースや4、50名ほど入れるイベントスペースも完備。GRID-AKL は企業間交流をすすめるため定期的に様々なイベントや交流会を行っているほか、常駐する支援員がおり、起業などに必要な相談や支援を実施している。この施設で始まった交流からコラボレーションや商品開発につながるケースも多々あり、会社が大きくなっても引き続き施設の利用を希望するため、企業数は増加し続けている。

品川区のスタートアップ施設『SHIP』について話すと、GRID-AKL の担当者からは「日本・東京に興味がある会社は多く、ぜひ何らかの形で交流を図って

いきたい」との話があり、2階にいた企業に向けて「東京・品川区の方々が来てくれました。東京に興味はありますか？」と担当者から声をかけていた。

利用企業は IT が多いと言っていたが、訪問当日はオンラインゲーム開発からペットグッズの企画販売まで、幅広い企業が利用していた。

誰でも利用できる１階

イベント・会議スペース

２階の会員企業スペース

利用企業名がジャンル別に壁一面に

卓球台の奥にキッチン兼カフェスペース

入口横で Stewart さん（左）、Haiko さん（右）と

9月5日(火) 4日目

１．リンフィールド・カレッジ訪問・交流

①時　間　9:20～12:45

②参加者　品川区公式訪問団、
Cath Knellリンフィールド・カレッジ校長、学生ら

③場　所　リンフィールド・カレッジ

④目　的

青少年語学研修派遣、ホームステイ受入れ交流を行っているリンフィールド・カレッジへ訪問し、交流内容等について話を伺う

⑤内　容

・学生によるポウヒリ（マオリ族の歓迎儀式）

マオリ文化を学ぶ学生らによるポウヒリで歓迎を受ける。

公式訪問団を会場である学校の体育館へ案内する Nell 校長。体育館も平屋だった。

Waiata（歌）による生徒たちからの歓迎

ニュージーランドの習慣『モーニングティー』は、10時ころにお菓子などを食べながら休憩をとること。ポウヒリで歓迎してくれた生徒や先生方と一緒に『モーニングティー』の時間を過ごした。

２つあるラグビーコートの左手奥にサッカーコートが見える、広大なリンフィールドの校庭。

校内にあるマオリの施設

リンフィールドの特色あるクラスを見学

品川区からの派遣生が学んでいる部屋

大人のための英語クラス

自動車修理を学ぶ教室

体育館

広く明るい図書室

日本の漫画が人気

Knell 校長からは近年、品川区から派遣される生徒の英語力が上がっていると報告があった。また、コロナ禍で中断している品川区への先生の派遣についても再開したいとの提案があった。先生方からは、今年度のみならず長年にわたる派遣生徒の交流について写真を交えて説明をいただき、リンフィールド・カレッジが品川区からの生徒を長年にわたりあたたかく受入れてくださっていることを再認識。今後のさらなる交流についても双方で確認を行った。

ホスピタリティを学んでいる学生たちによる、手作りのおもてなし

作った生徒らから、料理の説明を受ける渡辺議長

Knell 校長（左から 2 番目）がスライドを使い、品川区青少年語学研修派遣について報告

先生方との集合写真

記念にシダがデザインされた花瓶をいただく

リンフィールド・カレッジの門前まで見送ってくれた、Knell 校長らと

２．オークランド湾岸公社への視察

①時　間　14:00～16:00

②参加者　品川区公式訪問団、品川区国際友好協会
Roger Gray CEO、Craig Sain 商業・顧客サービス統括部長
Tessa　Auelua 工業技術・コンテナターミナル統括部長
Allan　D'Souza 海上・貨物輸送統括部長
Suhail Sequeria 事業開発部長
在オークランド総領事　松居眞司氏
首席領事　太田代見生氏
副領事　　川島彩佳氏

③場　所　オークランド湾岸公社会議室、湾岸公社貨物・貿易エリア

④目　的

島国ニュージーランドでは海上輸送が主な貿易手段であり、オークランド港は国内第2位の貿易量を誇る。オークランド港は、オークランド市が100%所有するオークランド湾岸公社が運営しており、その管理運営方法や市とのかかわりについて学ぶ。

⑤内　容

会議室で Gray CEO による、オークランド港と湾岸公社の関係や、オークランドにおける重要な貿易拠点としての湾岸の果たす役割等について説明を受ける。

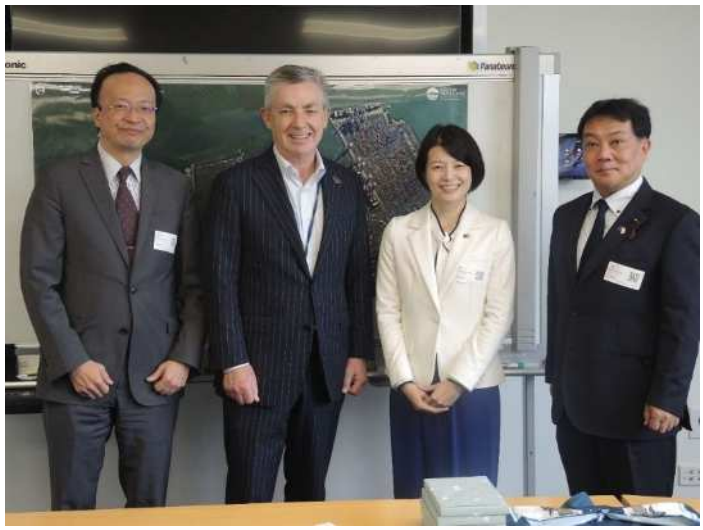
・オークランド湾岸公社は、オークランド市が100%所有する会社。オークランド港を管理・運営している。
・島国のニュージーランドは、貿易手段として海上輸送が99%。
・国際貨物船が入港する商業港は13港あり、オークランド港の取扱貨物量はタウランガに続き第２位。うち、輸入貨物はオークランド港が第１位。
・現在、オークランド港が取り扱える貨物量は限界に近付いており、貨物やコンテナの取り扱い、港に着いた荷物をいかに素早い輸送に繋げるかなどの工夫や効率化に取り組むとともに、新しい技術や機材を積極的に取り入れている。また、コンテナの設置量の増加を図る、時間のかからないコンテナ設置方法開発などを企業とともに行っている。
・オークランド港はクルーズ船の受け入れも実施しており、今後、乗り入れが増加するようであれば貨物船との兼ね合いを検討していく必要がある。

Gray CEO による概要説明

オークランド港の上空写真

浮世絵「品川諸侯出立」のテーブルセンターを贈呈

湾岸公社から戴いたマオリの船の工芸品



左から在オークランド日本総領事　松居氏、Gray CEO、森澤区長、渡辺議長

車で湾岸視察。説明を受ける渡辺議長（右）

左から、D'Souza 海上・貨物輸送統括部長、
齋藤品川区国際友好協会常務、
森澤区長、松居オークランド総領事

建物屋上で、案内してくれた湾岸公社の皆さんと

9月6日(水) 5日目

１．日本へ帰国

①時　間	ロビー集合時間	5:45	チェックアウト
	オークランド空港発	8:50	所要時間　10 時間 30 分
	成田空港着	16:50	荷物をピックアップ後、解散

その他

１．コンポストの全戸配布

訪問した２０２３年９月、オークランド市では地球温暖化対策として生ゴミ回収専用コンポストと専用ゴミ袋が全戸配布された。市が週１回、このコンポストに入った家庭の生ゴミを回収することで有害な温室効果ガスであるメタンガスの発生を減らすことができる。回収した生ゴミは堆肥として再生し農地で利用される。

この取り組みは２０１８年から一部地域で試行されていたが、今回オークランド市全体で開始するため配布されているとのこと。市の発表によると、生ゴミを収集することで、年間４０，０００トンの廃棄物が環境に役立つ方法で転用されることになると見積もられている。

オークランド市は２０１８年『２０４０年までに Zero　Waste（廃棄物ゼロ）を目指す』と宣言し、廃棄物管理・最小化計画を採択。有害物質やリサイクルできない資源の使用をやめ、必ず出る食品ゴミなどについては、ゴミの堆肥化やエネルギー利用を促進している。

廃棄物管理・最小化計画にはコンポストの促進、不法投棄への対処、事業の民営化など９項目の具体的な優先事項が掲げられ、その取り組みを推進。市内では Zero　Waste に取り組む団体の活動やその支援、周知活動、イベント開催など、様々な手段で実現に向け取り組みが進められている。

配布されたコンポスト

２０枚組の専用ゴミ袋（２．８ドル）

２．電動キックボードのシェアシステム

オークランド市内の道では至る所で見かけた電動キックボードのシェアシステムが始まったのは2018年。専用のアプリをダウンロードすれば、市民だけでなく旅行者でも利用できる。アプリで近くのキックボードを探し、車体についている QR コードを読み取って利用を開始する。使い終わった場所で本体の電源を切れば終了。電動キックボードは時速27kmほど出るとのことで、渋滞があり坂道が多いオークランド市内では急激に利用者が増加。ヘルメット着用が義務付けられているものの、事故も多数発生し、課題もあるとのこと。

日本でも電動自転車のシェアシステムが普及しているが、日本のシェアシステムとの最大の違いは、一部地域を除き、ほぼどこにでも乗り捨てが可能なこと。ポート（専用の置き場）のように決まった場所まで持っていかなくとも、自分の目的地に着いたらその場に放置することができる。実際に、街中の至る所に乗り捨てられたキックボードを見かけ、また、乗り捨てられているキックボードを拾って乗る人々を見かけた。

乗り捨てられた電動キックボードの回収・充電は業者だけでなく、Uber 登録者などが回収しているので、長期間放置されることはないとのこと。

あちこちに置かれていた電動キックボード

３．様々な場所の公衆トイレについて

新しい建物や施設は、男女共用の『誰でもトイレ』になっていたが、用途や場所の特性によって作り分けている様子だった。

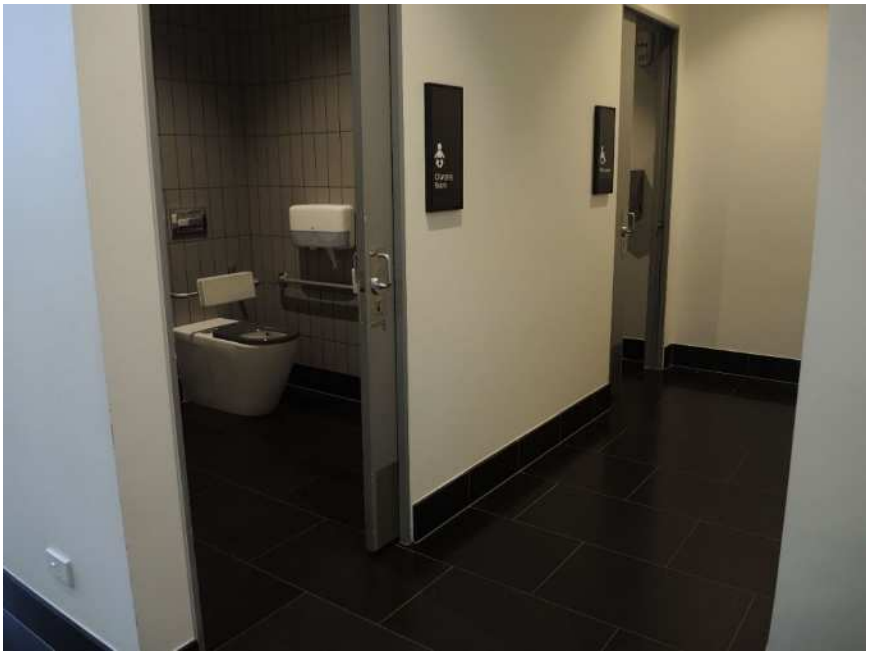
繁華街でよく見かけたタイプの公衆トイレ

電動の扉になっており、段差がなく車椅子でも使用可能な『誰でもトイレ』と同様の仕様

オークランド博物館内のトイレ①

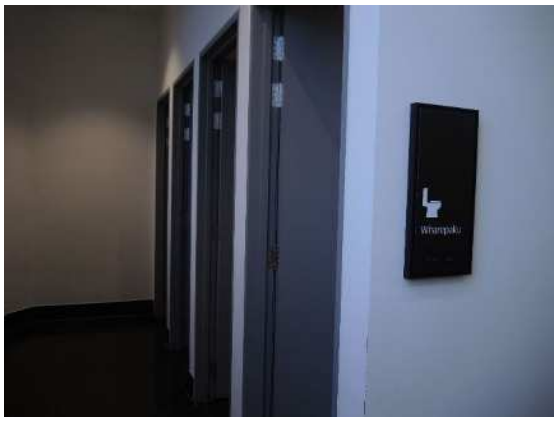
男女別のトイレの右に、車椅子マークの誰でもトイレ

オークランド博物館内のトイレ②



手前は赤ちゃんのマーク下に
「Changing（おむつ交換台あり)」と記載

奥は車椅子のマーク下に「車椅子」と記載



上記のトイレの真裏には男女共用の個室トイレが並ぶ。男女共用で、どちらが使ってもいい。

ニュージーランドホッケー協会が入っている大学施設内のトイレは男女別。

ビーチに面する公園内のトイレは扉のほかに鉄製の柵（左）　　男女別になっている

理由は、中にシャワーブースがあるため。夜間は施錠されている。

４．公共のゴミ箱

市内には至る所にゴミ箱があり、誰でも捨てることができる。

一般的なタイプのゴミ箱。左がゴミ、右がリサイクル可能なもの。

公園のゴミ箱に記載されたマオリ語と英語。
赤は一般ごみ、黄色はリサイクル可能なもの。

オークランド博物館は、写真付きで分かりやすいゴミ箱

左：リサイクル可能な「食べ物・紙ナプキン」

中央：混合廃棄物「瓶・缶・ペットボトル・ヨーグルト等のプラスチック容器、雑誌」

　　混合廃棄物は回収後に分別され、資源ごとに処理される

右：リサイクルできないゴミ

公園にあった、天井部に太陽光発電パネルが設置されているタイプのゴミ箱。

電力は、ゴミ箱の自動機能『圧縮』『ゴミ回収のタイミングを知らせる』『害虫を寄せ付けず清潔に保つ』などに使用されている。

参　考(資料)

Office of the Deputy Mayor of Auckland

Ms. Kyoko Morisawa
Mayor of Shinagawa
2-1-36 Hiromachi
Shinagawa-ku
Tokyo, 140-8715
Japan

Tuesday 25 July 2023

Dear Mayor Morisawa

Kia ora and warm greetings from Auckland.

It gives me immense pleasure to invite you visit Auckland on celebrating the 30th anniversary of Shinagawa and Auckland's friendship.

This year marks the 30th anniversary of the friendship agreement between Auckland and Shinagawa. I would like to acknowledge our long-standing relationship, and the many successful exchanges between our two cities that result in a deeper understanding and appreciation for each city's culture.

To celebrate this milestone and re-affirm our friendship agreement, Auckland Council will host a commemoration ceremony and lunch in Auckland at 10am, 4th September 2023. I extend a warm invitation to you and Mr. Yuichi Watanabe, Chairman of the City Assembly, to join us in Auckland for this significant event.

I am delighted that after the challenging years of pandemic, our boarders are open, and we can re-connect with each other in person. I look forward to welcoming you in Auckland soon.

Yours sincerely,

Desley Simpson
Deputy Mayor
Councillor | Ōrākei Ward
021 971 1786

翻訳

オークランド
副市長室

品川区長
森澤恭子様
140-8715
東京都品川区広町 2-1-36
日本

2023 年 7 月 25 日 火曜日

森澤区長

Kia ora（こんにちは）、オークランドよりご挨拶申し上げます。

品川区とオークランドの友好 30 周年を記念して、区長をオークランドへご招待できることを大変嬉しく思います。

今年はオークランドと品川区の友好都市関係締結から 30 年となる年です。両市区の長年に渡る関係と、成功を収めてきた多くの交流事業が互いの文化の深い理解と評価につながってきたことを、私は感謝したいと思います。

この節目を祝し、私たちの友好関係を再確認するため、オークランド評議会（注：市役所・市政府のこと）は記念式典と昼食会を、オークランドにて、2023 年 9 月 4 日午前 10 時より催します。区長と渡辺区議会議長をこの重要な行事に心よりご招待いたします。

パンデミックによる困難な数年間を経て、国境が開かれ、実際にお会いして再び交流ができることを喜ばしく思います。オークランドにお迎えできる日を楽しみにしています。

心をこめて

（署名）

Desley Simpson
副市長
Ōrākei 地区 選出議員
021 971 1786

FRIENDSHIP AGREEMENT between the City of Auckland, New Zealand and Shinagawa City, Tokyo, Japan

DECLARATION

On behalf of
the people of Auckland City, New Zealand
and Shinagawa City, Tokyo, Japan,
we do hereby pledge our commitment to
each other to join in the name of
Friendship Cities and serve to foster the
enrichment of mutual understanding and
goodwill between our two peoples, with
the purpose of contributing to the
peace and prosperity of the world.

Declared on this seventeenth day of May
nineteen hundred and ninety three.

Les Mills
Mayor of Auckland City

高橋久二
Kyuji Takahashi
Mayor of Shinagawa City

Bruce Anderson
Chief Executive

鎌田利雄
Toshio Kamata
Chairman of the City Assembly

友好都市協定書

宣言文

日本国東京都品川区ならびにニュージーランド国オークランド市の両区市民を代表し、我々はここに友好都市を提携し、世界の平和と繁栄に寄与することを目的として両区市民の相互理解と友好親善の促進に尽力することを誓う。

本日、1993年5月17日宣言する.

品川区長
高橋久二

オークランド市長
レス ミルズ

品川区議会議長
鎌田利雄

チーフ エグゼクティブ
ブルース アンダーソン

オークランド市　交流事業派遣・受入人数

	都市名	オークランド									
	交流種別	ホームステイ				青少年語学		周年行事			
		派遣		受入		派遣		派遣		受入	
		派遣生	引率	受入生	引率	派遣生	引率	公式	親善	公式	親善
1984	昭和59年度										
1985	昭和60年度										
1986	昭和61年度										
1987	昭和62年度										
1988	昭和63年度										
1989	平成元年度										
1990	平成2年度	16	2								
1991	平成3年度			9	2						
1992	平成4年度	16	2								
1993	平成5年度			16	2			12			
1994	平成6年度	16	2			12					
1995	平成7年度			17	2	14	2				
1996	平成8年度	17	2			14	2				
1997	平成9年度			14	2	14	2				
1998	平成10年度	18	2			15	3	11	208		
1999	平成11年度					14	2				
2000	平成12年度			16	2	13	3				
2001	平成13年度	16	2			13	2				
2002	平成14年度			15	2	13	2				
2003	平成15年度	16	2			13	2			12	6
2004	平成16年度			16	2	13	2				
2005	平成17年度	15	2			13	2				
2006	平成18年度			16	2	13	2				
2007	平成19年度	16	2			13	2				
2008	平成20年度			16	3	12	2	12	28		
2009	平成21年度	インフルエンザ流行により中止									
2010	平成22年度	16	2			13	2				
2011	平成23年度					13	2				
2012	平成24年度			15	2	15	2				
2013	平成25年度					20	3				
2014	平成26年度			15	2	30	4				
2015	平成27年度					30	4				
2016	平成28年度			17	2	30	4				
2017	平成29年度					30	4				
2018	平成30年度			15	3	30	3			10	
2019	令和元年度					30	3				
2020	令和2年度	コロナにより渡航中止 2021年　オンライン交流5日+事前1日　18名参加 2022年　オンライン交流6日+事前1日　13名参加									
2021	令和3年度										
2022	令和4年度										
2023	令和5年度					30	3				
	小計	162	20	197	28	470	64	35	236	22	6
		829　（青少年のみ）						271		28	
		941　（引率含む）						299			
	計	1128（引率除く）　　1240（引率含む）									

↑オンライン含まず

品川区・オークランド市 友好都市協定締結30周年記念パネル展

更新日：令和5年5月12日

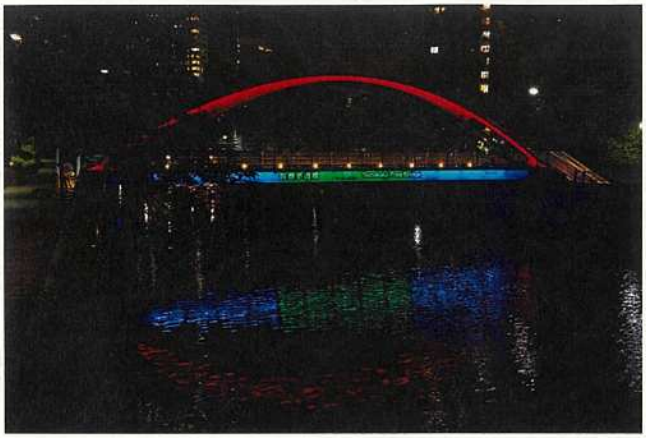
品川区とニュージーランド オークランド市の友好都市協定締結30周年を記念したパネル展を、令和5年5月19日(金)午後3時まで、区役所本庁舎・第二庁舎渡り廊下で開催しています。

品川区とニュージーランド オークランド市は、平成5年(1993年)、両区市の共通点として、「非核平和宣言を行っている」「南北の違いはあるがほぼ同緯度にある」「四方が海に囲まれている」等の理由で友好都市協定を締結。品川区からの青少年語学研修生派遣や、オークランド市からのホームステイ受け入れ等を通じて友好を深めています。

今回は、公式訪問団、親善訪問団の派遣・受入時や、オークランド市リンフィールドカレッジへの青少年語学研修生派遣の写真などをパネルで展示。また、ニュージーランドの文化や歴史を紹介しているほか、オークランド市から品川区へ友好都市協定締結を記念し贈られた盾も展示していますので、この機会に、ぜひご覧ください。

オークランド市友好都市提携30周年 橋梁ライトアップ

更新日：令和5年5月26日



令和5年5月17日(水)から5月31日(水)までの期間、"ヒカリの水辺プロジェクト"の一環で、品川区・オークランド市友好都市提携30周年を記念して、区内13の橋をオークランド市のロゴに合わせた赤・緑・青のテーマカラーでライトアップを実施しています。

品川区とニュージーランド オークランド市は、平成5年(1993年)、両区市の共通点として、「非核平和宣言を行っている」「南北の違いはあるがほぼ同緯度にある」「四方が海に囲まれている」などの理由で友好都市協定を締結。品川区からの青少年語学研修生派遣や、オークランド市からのホームステイ受け入れ等を通じて友好を深めています。

"ヒカリの水辺プロジェクト"は、区内の水辺が多くの人でにぎわう観光・交流の軸となることを目指して、新品川橋、品川橋、荏川橋、要津橋、三橋、森永橋、小関橋、鈴懸歩道橋、山本橋、ふれあいK字橋、かもめ橋、勝島橋、アイル橋の全13橋梁でライトアップ。
点灯時間は、日没頃から午後10時まで。

品川区では、季節ごとのカラーのほか、今回のような記念日やイベント、アウェアネスリボン運動に合わせたライトアップも実施。
水面に映える夜の橋をお楽しみください。

"ヒカリの水辺プロジェクト"の詳細ににについてはこちら

チャット
しらべる

市庁舎とタウンホールの間にあった、
マオリの門

発　行　令和５年１０月
発行者　品川区総務部地総務課
平和・国際担当